

会 議 録

会 議 名 (付属機関名等)		第13回 キセラ川西エコまち協議会交通部会
事 務 局 (担当課)		土木部 公園緑地課
開 催 日 時		令和2年1月30日 14時00分～15時45分
開 催 場 所		川西市役所 502会議室
出 席 者	委 員	松村、左山、東山、笹郷、野津(代理;村上)、北澤、中家、中垣、光本、丸谷、中本、加美田、松塚、阪上、井上、五島、北野
	事 務 局	堀内、今井、池永、松村、寺田、福庭 小倉、大崎(コンサルタント)
傍聴の可否 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		可 傍聴者数 0人
会 議 次 第		1 開会挨拶 2 議事 ・サイン計画 資料1 、 参考資料1 ・公共交通利用促進 資料2 ・今後のスケジュール 資料3 3 閉会挨拶
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり

審 議 経 過

1. 開会挨拶

土木部 部長

- ・皆さん、こんにちは。市民委員の皆さん、ようこそおこしいただきました。コミュニティの自治会が中心になっていますので、いぶん高齢の方が多く、どんな方が来られるのかと思って少し心配していましたが、ようこそお越しいただきました。
- ・新しい方もおられるので、事業の進捗をご報告させてください。キセラは皆さん多分ご存じだと思いますが、このエリアで約23haの区域がありまして、公園と遊歩道を中心にプラザが出来てから1年以上経ちました。そういうものを配置する事業を総称してキセラ川西推進事業と言っています。
- ・平成21年に計画して、平成25年に工事に着手、今年度の上半期にすべての土木工事が完了いたしました。これからは維持管理をしていく形になっていくのですが、事業としては区画整理ですので、もともとあった宅地を再配置するということがメインの仕事になっています。大半が個人さんの宅地ですので、個人さんの宅地に対して出来上がったものを引き渡して、それぞれがお使いになっておられます。例えばオアシスさんなどは、そこに集まっておられた民間の敷地の方々が事業展開をされているという仕組みなのですが、具体的な土地利用はどんどん進んでいっている状況です。
- ・最後に、権利関係、所有権をちゃんとしてあげないといけないので、それを通知してあげる作業があります。それが区画整理事業では最後の換地処分という仕事なのですが、それをこの4月に全権利者の方に発送して、しっかりと事業を終わっていかうと、そういう本当に終わりの段階になっています。
- ・この事業はそのようにして工事を進めてきたのですが、並行して市民参加という形でせせらぎ遊歩道や中央公園を作るときには設計の段階から市民の方に入っていていただいて意見をお聞きして、できることは設計に反映させて作ってきたということをやってきました。
- ・平成29年7月に公園はオープンしたのですが、その時にもたくさんの方々に来ていただいて祝っていただき、あるいは去年5月にキセラ丸という管理棟が出来ているのですが、それも市民の方々と一緒に意見を聞きながら設計に反映して、作るのも一緒にやりながら積み上げてきました。キセラ丸が出来た際のオープニングセレモニーは、公共施設ですから本来は、我々役所の人間が企画運営するのですが、市民の方の発案で、市民の方が実行委員会を作られて、市民の方がプログラムを作られて、市民の方がゲストを呼んで来て、そういうことが実現をいたしました。実はキセラ丸のオープニングセレモニーは0から100まで市民の方が手作りで作られたというようなことも1つのうねりとしては起こってきています。
- ・先日26日に防災の体験を公園で開催したのですが、それもキセラカフェという2カ月に1回、一般市民の方が集まって意見交換している場があるのですが、その場で防災の機能があるらしいけれど、みんな知らないのではないか、という意見がありました。そこで、防災士会を知ってい

るから防災士会に声をかけようとか、女性消防団の方に声をかけようということで、いろいろな市民の方々が参画してプログラムが出来上がったという、そのようなソフト的な展開も継続しております。施設が出来てからの使い方が大事ですので、これからは、さらに市民の方がどんどん使いこなしていただく公共施設になっていったら、と思っています。

- ・この交通部会ですが、区画整理を進めるに当たってエコなまち、低炭素に配慮したまちづくりを進めて行こうということで、平成24年ぐらいから具体的な検討を始めてエコまち計画を作りました。計画は5つの分野に分かれていて、都市構造の分野とか、建築の分野、エネルギーの分野、緑の分野とあるのですが、そのうちの1つに交通分野というのがあります。ただ、交通分野ではできるだけ公共交通で移動してもらう方法や環境を検討するに当たって、キセラの約23haでは完結しないので、検討範囲を中心市街地活性化基本計画の80haの範囲に広げている議論を進めてきたところです。
- ・いよいよキセラプラザが出来ましたし、オアシスタウンも出来ました。病院も計画されているという状況に来て、我々の交通部会としても周辺のサインを考えていく必要があるのではないかとということから、昨年度の終わりぐらいからこの交通部会でサイン計画に取り組むということで動き出したところです。
- ・ちょうどそれと同時に市民会議が進められていて、その中で同じような視点といいますが、ご意見があったということで、本日3名の市民の方の参画に至っているということでございます。
- ・これから議論していきますので、いろいろな意見を集約して最終的に松村先生がうまくまとめていただけたらと思っていますので、出来上がったものがみんなで作ったよということが堂々と言えるような、そういうものにしていきたいですし、ぜひ忌憚のない意見をどんどん交換していただいて、活発な会議に引き続きしていきたいと思っています。
- ・本年度第1回は年を明けての開催になっていますが、市民会議との関係をにらみながらということがありましたものですから、そういう動きになっています。
- ・申し遅れましたが、事務局には公園緑地課とキセラ川西推進課、それとコンサルでお世話になっているコンサルタントが着席しておりますので紹介させていただきます。
- ・では、よろしくお願いたします。

2. 議事

サイン計画

事務局

- ・資料説明(資料1)

部会長

- ・ありがとうございます。確認ですが、2番目の検討フローというのがあります。これは今回と次回でサイン計画の策定まで行くのですか。

事務局

- ・今回が第13回ですが、第16回ぐらいまで拡大して、全4回で検討できればと考えています。検討の内容によっては短くなったり、もう少し増やしたりすることはありますが、令和2年度上半期ぐらいまでを目標にやっていければ良いのではないかと考えています。

部会長

- ・第13回、14回と書いてありますが、15回、16回ということも考えるということです。それは議論の進捗次第で、大体のスケジュール感としては来年度の上半期までにできればということですね。来年度上半期ぐらいの感覚でということですので、今日の最後のデザインのところまで行くか行かないかは少し置いといても、今いろいろな観点からご説明いただきましたので、まずはざっくりお話ししたいとおもいます。どこからでも結構ですので、ご意見がございましたらお願いしたいと思います。
- ・基本方針ということで2ページ目から書かれています。回遊性の創出、わかりやすい誘導、まちのアピールということですが、方針的には特に問題ないかなと思うのですが。

委員

- ・このサイン計画は市全体のひな型みたいな感じになるということですよ。少し気になるのは、市の道路の看板という概念でやっておられますが、電車とかはデジタルサイネージが入っていますので多言語化が結構進んでいます。大阪市の地下鉄だったら、中国語、広東語、韓国語、英語、日本語とやっておられます。阪急はわからないのですが、特急などがあるところは外国人の利用も多いので、多言語化がすごく進んでいると思います。例えば、宝塚線だったらカップヌードルミュージアムは中国の方がすごいですし、これで日本語、英語だけと書いてしまうと、将来英語以上に拡張できないという形で足かせになってしまうのではないかと。柔軟に対応できるような方法が良いのではないかと。そのまま進めたら、外国語は英語ということが、意図していても、意図していなくても、固定化されるものになるとまずいのではないかと。そこは自由に扱えるようにということでは何かのやり方があるのではないかと。思うのですが。

部会長

- ・そうですね。会議が始まる前にサインのガイドラインを川西市は持っているのかと聞いたら、持っていないという話でしたので、そういう意味ではひな型的なものになると良いですね。キセラの交通部会でサインのひな型を作って良いかという話もあるのですが、とにかくここに新しい施設ができたということで、集中的にサインを出していくような場になりますので、そういう意味ではこれが良いと判断されれば川西市の道路のサインのガイドラインになり得ると思いますので、そういう意味では良いものができればなと思います。
- ・言語の話は確かにそうだなと思います。

- ・それから、テクノロジーですよ。ものすごい勢いで今進んでいますので、本当にガチとしたサインをたくさん作るのが良いのかどうかという議論もあり得るのかなと思います。スマホを持っているのが普通の時代ですので、スマホを持っていることを前提にした案内の仕方というのもあるでしょうし、もっと積極的なプッシュの情報を提供できるようなサイン計画もあるはずだろうと思います。今は道に迷うか迷わないか、だけのサインですが、もう少し広い意味でまちのアピールとか回遊性の創出と書かれているのは多分そこだろうと思います。
- ・何か面白そうなものを今やっている、バーゲンをやっている、そのようなリアルタイムな情報をサインにアクセスするとわかるという話になると良いかなと思います。わざわざスマホで検索するよりも、そのサインを確認すれば分かる。そういういろいろな可能性も秘めているようなものとしてこのサインを考えていければ良いかなと思います。
- ・他にどうでしょうか。どこからでも結構ですので。

委員

- ・別途、総合戦略の方で清和源氏をイメージした統一的なデザインとか色も言われていますので、前回からこういう形と色が例示されているわけですが、その辺を盛り込んだ方が良いのかなと思います。

部会長

- ・そのあたりはいかがですか。

委員

- ・市民会議の最終のところでは発表させていただいたのですが、西宮市さんもガイドラインをすごくきれいに作られていまして、かなり参考になると思います。公共サインといいますが案内板とか名所誘導、駐車場の案内、非常時の誘導、マナー、注意喚起とかさまざまあるのですが、公共サインと並列に文化歴史のサインをきっちりと分けていくのはどうかという提案です。
- ・川西市の歴史を私ども市民会議でだいぶ深く勉強し、市民の誇りとか愛着というところを、今だけではなく、10年、今の子どもたちが育っておじいちゃんになっても心の中に誇りとか愛着を育てるツールとして歴史文化は絶対に有効だと思います。そして、産業に掛け算するとすごい力を発揮するものだということがわかりまして、そこにベースとしまして歴史文化の要素をぜひサイン計画にも取り入れていただきたいという気持ちがございます。
- ・並列に史跡文化歴史のサインと公共サインを立て分けといいますが、北摂の里山エリアもサイン関係は充実しており、茶色系で統一しています。例えば川西市ならササリンドウがモチーフになってくると思いますし、源満仲の平安時代のマンホールを見ましても満仲が矢を射っているイラストや、よく見ればいろいろ発見できるものが川西の中にはたくさんあるので、そのようなものを取り入れていくのはどうかということです。

部会長

- ・キセラだと文化歴史は何があるんですか。

委員

- ・80haの敷地の少し外側に、勝福寺古墳というのがあります。前回の議事録では、阪急バスの勝福寺前バス停が、日高町と比較して利用が多いにもかかわらず外れたのが、私は疑問でもあったのですが。南の方に行きますと加茂遺跡というのがありまして、あとそれよりも一番ベースなのは、源の始まりは実は川西からと言われています。三ツ矢サイダーのロゴも源満仲の古事に沿ってできた発祥の地で、宝塚もそうですが、川西と宝塚は観光で打ち出しができるような要素が実はある場所です。
- ・JRの駅前の源満仲像、これも何も説明がなく像があるだけです。案内板が全くない状態で、川西市内は今からサインを始めていくということなので、歴史要素を入れられるのであれば。

部会長

- ・満仲像は私も知らなかったです。電車で何十年も来ていますが。

委員

- ・歩道橋を通ると、頭しか見えないので目立たないのです。歩道橋の下にあるのです。

部会長

- ・それは、歩道橋を渡る人からすると気づきにくいですね。

委員

- ・歩道橋の右側を通っているとよく見えるけれど、屋根のところを通っていると見えない。

委員

- ・デッキに説明板があるのですが、あまり目立たないのが現状です。

委員

- ・屋根の下あたりに矢印などがあれば、多分何があるんだろうと気になって覗く人もいるかもしれませんが、矢印などありません。

部会長

- ・そのような要素を入れてはどうかということですね。それを種別で分けていくということで。
- ・今事務局からご提案があったのは、3ページの分類のところ、例えば中心市街地活性化計画だと資料のようになっています。もっと違う分類で行くと、先ほど委員からご提案いただいた文化

歴史というのがあり、これは案内板の色自体を変えていくということですね。

委員

- ・ そうです。参考資料で、市民会議で発表したものになるのですが、完全にベースの色も変えてしまい、茶系と例えば川西市のリンドウの色でわかりやすく区別というのはありかなと思います。

部会長

- ・ そういうやり方もあるとのこと。今日、全部決める必要はないので、いろいろな意見をいただければ、事務局で取り入れていただいた形で修正いただけたらと思います。さまざまなご意見をいただけたらありがたい。
- ・ 勝福寺を消したのは何ででしたっけ。最寄りじゃないんですっけ。

委員

- ・ 電車を優先するためです。

事務局

- ・ 電車で来られた方を優先して、そこで降りているのが多いのですが、日高町で良いのじゃないかということで外しました。

委員

- ・ それは阪急バスさんも OK なんですか。

委員

- ・ そうですね。私も前回議事録を拝見して、そうなのかなと。日高町から歩いていった方が、信号や横断歩道を通らずに行けるので安全なのかなと。

部会長

- ・ 勝福寺のアナウンス、キセラ前とか、これは入っているんですか。

委員

- ・ 今は日高町で実施しています。

部会長

- ・ 北から来ると勝福寺の方が明らかに近いですね。

委員

- ・現状では日高町と旧道の方に火打2丁目という停留所があります。オアシスタウンのちょうど前のところにございまして、そちらでもキセラ川西のご案内はさせていただきます。

委員

- ・先ほど、連絡デッキの話が出ていていましたが、そちらで4ページの経路のイメージが、下の道路のイメージで線が引かれていて、デッキが入っていません。どちらかというデッキを使って歩く人が多いですから、その経路にデッキを入れてもらって、デッキの屋根の下のところにサインを出してもらった方が良いのかなと思います。

部会長

- ・まだ場所までは考えていなかったと思いますが、よく通られるところはデッキだと思いますので、そこは考慮したような形で入れましょうか。
- ・他はどうですか。

委員

- ・サインの場所ですが、キセラまで徒歩で向かうとすると、ちょうど川西篠山線を北上していくルートは電車から来る方が多いと思います。ちょうどパルティ川西を過ぎた信号からキセラ川西までは長い距離があり、歩いているとキセラが見えないです。近づいていくとわかるのですが。要は、この間にサインがないと本当にこっちがキセラなのかというのが、ちょっと長いのでわからないのではないかなと感じました。信号からキセラ川西までの間にサイン、こちらがキセラですよというようなサインを入れておく方が初めて来られた方には良いのではないかと個人的に感じました。もし検討できるのであればそういうことも入れていただいたらどうか、と思います。

部会長

- ・確かに歩いていると、本当に合っているのかと不安になりますね。
- ・他はどうでしょうか。

委員

- ・みつなかホールまでが計画区域になっているということですが、ちょうど国道176号線の川を跨いでいく橋の付近に「ようこそ川西市へ」という大きな標識があると思います。これは現状のままということでしょうか。私も車を乗らないので、みつなかホールの方はあまり行くことがないですが、数年前に見た時に少し老朽化しているのかなと見受けられたような気がします。そこに「ようこそ川西市へ」というのがリンドウの花の絵が入ったようなものになっていたような気もするので、ここまで範囲を広げるのであれば、そのところも検討しても良いのではないかと思います。
- ・先ほども話が出ていたと思いますが、市民会議の中でも川西池田駅ということはわかるけれど、

ここが川西市なのかどうかというのがわかりづらいという意見もちらほら出ていました。ここも川西市なのに、川西らしくない。ロータリーを降りたところには「川西のまちをきれいに」というロータリーの植え込みのところには書いてあったりするのですが、歩道橋を使われる方が多いとなると、川西市と表すものがほぼ皆無だという話もありました。病院とかキセラとか、市民だけに対するものであるのであれば施設と経路ということでも良いと思うのですが、地区以外、県外、外国の方も対象として今後考えていくのであれば、玄関口が本当に近いので、その部分も複合して考えていくと二度手間にならないのかなという気がいたします。

部会長

- ・玄関口のところに川西市のアピールということですか。

委員

- ・そうです。みつなかホールのところまで、範囲が広がっているのであれば、そこまで考えてしまっても良いのかなと思います。

委員

- ・1つお話にありました看板につきまして老朽化が進行していましたので、ついこの間、新しくしました。そこで訴えているのは、「川西市へようこそ」ということと、清和源氏の発祥の地であるということ、その2つを訴求しています。
- ・JR川西池田駅の話ですが、私の記憶が間違っていたら申し訳ないですが、たしか最初は池田駅だったのかなと覚えています。川西でありながら池田駅という議論が、何年前にあり、当時いろいろJRとの交渉の中で川西池田駅と名称が変わったということを記憶しております。

部会長

- ・呉服橋のところの話で言うならば、サインの撤去とか、更新とか、そういうところまで入れるのかということですね。かなり問題は大きいです。サインを取るというのは大変じゃないですか。

委員

- ・きれいなまち、歩きたくなるまちという方向から行くと、看板が混在し、老朽化しています。交通関係の「横断者に注意」とか「スピード注意」とか、そのような交通関係もあるのですが、看板の上に看板を重ねているようなものも見受けられます。いくらきれいなまちを作るといっても、歩きたいまちにつながるような、更新とか随時撤去、不要な看板の撤去というのはそろそろ本気で必要だなと感じます。大阪ではBID (Business Improvement District) がスタートしていますよ。地域の人の受益者負担でまちをきれいに、看板をきれいに、運営も含め、やっていくことがサステイナブルという方向だと、その要素はこれから必須ではないかと思っています。

部会長

- ・私もそうすべきだと思いますが、実際はとても大変ですよね。それをこの交通部会でやるかと言われると結構大変なことです。しかし、委員がおっしゃるように、サインをどんどん付加すれば良いのかというと、そんなものではないと思います。民地に立っているサインはなかなか撤去というのは大変な話ですし、公共用地に立っているようなサインでさえも撤去するにはかなり大変なことです。言うのは簡単ですが、実際の撤去のことを考えるとこれはなかなか大変ことだなと思いつけるので。
- ・このスケジュールで行ったときに、今キセラまでサインの誘導ができていないという現状を考えると、基本的に交通部会で考える1つのステップとしては、まずはキセラまで誘導をしっかりとするというところに焦点化した上で、その中でキセラの誘導とともに、やっていくときに、先ほどご提案いただいたような文化であったり歴史であったり、そういうものも入れるような余地を作っていくのが良いと思います。先ほどの満仲像の話は典型的だと思うのですが、ああいうような歴史的な資源があるならば、それをプロトタイプといいたほうがいいか、そういう形で表現していくというのは大切なと思うのですが。作るという方向性で議論はした方が良さそうな気がします。撤去は本当に大切なので、そこは引き続きどこかでという怒られますが、考えなければいけないと思います。

委員

- ・今ご指摘いただいたのは、歩いていて気持ちの良いまち、きれいなまちというイメージをしたときに、例えば交通安全の啓発の看板などが乱立しているのではないかというご意見かなとお伺いしました。それはこの部会で議論していくと拡散するのでということだと思うのですが、道路管理者としてそのあたりは確かに、地域あるいは住民のニーズに従ってそういう啓発をずっと続けてきた結果がそうなのかなという、担当をかばう気持ちある一方で、重なっていたり、老朽化したりしているということであれば、道路管理者、あるいは看板の設置者として点検しないといけないのかなと思いました。

委員

- ・今まちを歩かなくても、グーグルのマップで全部見れるので、ここにどんな看板があって、プロットしながら作業できると思います。
- ・「横断者に」だけ残って「注意」という文字が消えてしまっている看板もあります。また、スクールゾーンの文字の上に新しい看板が巻かれています。そういう課題があるということで、ご理解いただければ。

部会長

- ・問題提起としては重要だと思うので、それはこれだけ市役所の方にお集まりいただいていますし、各民間事業者にも集まっていますので、そういう問題があるということをご認識いた

だきまして、事業で気をつけていただければと思います。

- ・他はどうか。

委員

- ・今キセラへの誘導というのが中心かと思うのですが、往復も考慮と書いてあるので、回遊性を高めるという意味では、矢印方向は両方併記が良いのではないかと思います。

部会長

- ・そうですね。往復を考えるとということですね。
- ・他はどうか。
- ・3ページ、中心市街地活性化基本計画の中ではこのような対象施設ということが挙がってきています。それと、文化的なもの、歴史的なものも付加していきましょうという話をいただきましたが、対象としてはこれくらいですかね。あとは誘導の距離が長くなるようなところは間に入れていくという話もありましたが。

委員

- ・3ページ、中心市街地活性化基本計画の記載内容ということで、ここは看板を出すというのではなくて、施設がこれだけありますということだったと思います。看板をかけていくということになれば、当然税金で立てるということになってくるとと思いますので、商業施設については一定エリア的な案内になっても、なかなか固有名詞というのは出しづらいところがあるだろうと思います。

委員

- ・私は毎日駅と役所を歩いて往復しているのですが、当たり前のように歩いています。先ほど既存の看板の整理の話が出ていたのですが、グーグルで見るのも1つの、そういう方法もあるのかという、すごく納得できたのですが、それとは別に、歩行者として現地を歩くのもこの計画づくりを進めるに当たってだいぶ重要になってくるのかなという感じがしました。

部会長

- ・それはご提案としては、現地点検で実際に歩いてみてはどうかということですか。

委員

- ・そうですね。ぜひ皆さんやっていただいて。

部会長

- ・今年は暖冬ですので、確かに実際に歩いて見て、現地をチェックした方が良いですね。次回かそ

の次ぐらいにいかがでしょうか。

- ・他はどうですか。サインの中でもバリアフリーの話もあります。そのあたりは考慮されていますか。視覚障害者、弱視の方が判読しやすいような形でやるとか、それで色も多分決まってくるのかなと思いますし、ベースの色としてはご提案があったのは先ほど清和源氏の色という。清和源氏の色ってどのような色ですか。

委員

- ・日本の伝統色でリンドウという色があります。ただ、川西市のホームページのヘッダーにもあるのですが、色が薄いです。実際の花の色は紺色ですので、1回見てみてください。リンドウの色は2色あるのですが、薄い紫の花とリンドウの色はコバルトブルーです。すごいきれいな色です。

部会長

- ・清和源氏の色はリンドウの色なんですか。

委員

- ・多田神社は緑色を使っています。白ベースに緑色で、ササリンドウの家紋がパッと入っています。

部会長

- ・その辺また後で確認させてもらいます。映える色というのがあると思うので。
- ・他はどうですか。
- ・いろいろご意見を頂戴しましたが、それらを踏まえてもう1度次回、サイン計画について議論した後に、みんなで歩くというイメージになるのでしょうか。そのあたり、事務局でご検討いただければと思います。
- ・次の議題に進みたいと思います。

公共交通利用促進

部会長

- ・公共交通利用促進についてご説明いただければと思います。

事務局

- ・資料説明（資料2）

部会長

- ・1ページ目のロゴを使う場面というのはどういう場面ですか。

事務局

- ・キセラ川西でイベントがある際のポスターなどに掲示して、このような交通手段を利用してくださいと使うものです。公園利用のガイドラインにもこちらが使われるようになります。

部会長

- ・基本、鉄道利用で来られる方が想定されるチラシやポスター、そういうところにこの表示を使いたいということで、勝福寺のバス停というのは対象外だろうということで勝福寺の名前が削ってあるということですね。
- ・いかがですか。1案、2案、3案を作っていますが、どれが駄目だ、どれが良いというのはご意見があれば。

委員

- ・確かにどこの場面で使うものかなというのは僕も疑問に思っていたところだったのですが、イベントへの誘導案内ということでこういう3方向からということは理解できました。
- ・その中で、ここの検討するところがキセラ関係ということでキセラのエリアが赤斜線で引いてあるわけですが、そういった利用のときに赤斜線はこだわりで持っておかなければいけないのかなと。

部会長

- ・なるほど。その辺は担当部局としてはどうですか。

委員

- ・特にそう言われるとそうですね。

部会長

- ・23ヘクタールは別になくても。

委員

- ・併せて、勝福寺のバス停も表記した方が良いのかという気がしますね。

委員

- ・利用は多いらしいですし、拠点、ポイントが多い方が利用する側はありがたいですね。

委員

- ・北側から来られる方に対しても対象になさるのであれば、北方向からももちろんあっても良いと思うのですが、鉄道の駅で降りられて歩かれるか、日高町を通っていただくか、というところが

もし重点なのであれば、その検証というか、先に定めるといふか。

○部会長

- ・これまで議論していたのは鉄道駅からの誘導だったので外したのですが、北の方から阪急バスを使って来られることを考えれば多分勝福寺の方が便利は便利ですよ。

委員

- ・降りてそのままです。

委員

- ・たしか去年のアンケート結果においても、清和台の方から来られる人はバスがメインだったように記憶しています。

部会長

- ・じゃあ復活しましょうか。

委員

- ・もう1点良いですか。病院はいつできるのでしたっけ。

委員

- ・令和4年です。

委員

- ・病院を予定という形で入れることは無しなのでしょうか。ここの目的が、外部の方にきれいなまちであるということの訴えと、病院がここにできるんだということがわかることとわからないこと、どちらが効くかということ、多分病院がここにできるんだなというイメージがあると訴求が強くなる気がします。

部会長

- ・という意見ですが、本当にできるのかという話。

委員

- ・確かに電車で行けるんだとわかるかわからないかは大きな違いだと思いますので、良いと思います。

委員

- ・これはイベントの時に特に使われるということですか。常々飾りたいわけではない？

部会長

- ・ではないです。

事務局

- ・経過の整理だけさせていただきますと、今回最初にご説明いただきましたとおり、この交通部会ですが、キセラ川西のまちづくりにおける低炭素まちづくり計画という中で動いてきております。
- ・そうした中で、ここは交通部会という場ですが、公園の利活用という分野のみどり部会がまた別でもう一つありまして、そこで公園の使い方とかそういう議論をさせていただいております。そこ交通部会との連携といえますか、電車で公園に来てもらうとか、そこにターゲットを置いている中でこのマップができてきています。
- ・前回のエコまち協議会のご議論の中で、一旦はキセラのエコまち協議会だったので、キセラのエリアが見える方が良いのではないかとあるとか、または勝福寺前の部分は、前回ではたしか両方載せさせていただいたと思うのですが、両方あったら余計混乱するのではないかとということで1個になった状態で今回お示しをさせていただいて、実際ビジュアルを見た中でまた新たなご意見をいただいた中でさらによくなっていけばということでご意見をいただいている状態なのかなと思っています。
- ・実際見比べていただいた中では、確かにキセラのエリア、ピンクのメッシュは要らないのではないかとこの形であれば、当然すっきりして、要らないかなという、またそういうご意見でたたきの整理をさせていただきますし、勝福寺前も前回は両方出ていましたが、もう一度復活させていただいて、より使いやすいものになっていくのが良いのかなと思っています。
- ・このマップですが、みどり部会との連携の関係で、主に使われていますのは公園でのイベントで主催者が地図を表す時に、是非ともこういう地図を活用していただいで少しでも公共交通機関を利用していただいで公園に集まっていたとこの形になっていきますので、主軸としては病院の予定地を示す方が良いのかどうか、また案として入れさせていただく中で見ていただいで、ご意見をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

委員

- ・セールスとしての要素は必要だと思います。

○委員

- ・私は入れない方が良いかな。

部会長

- ・多分いろいろなご意見があると思うので、一度両案を確認していただいて、それで入れない方が
良いよねとか、入れるべきだよねとか、また議論できればなと思います。

委員

- ・以前、イベントのチラシを作ったりするときに、あくまでイベント場所への経路を示すという、
せせらぎ公園への経路を示す時にしか使わない地図であればということが前提なのですが、それで
あればあまり説明を入れると逆に見られる方は混乱されることも多いということもあるのかな
と思ったので。なので、セールスポイントとして使う時は入れるなりして、この地図の使い道の
用途が広がれば、その時に追加する、追加しない、省く、省かないでやった方が良いのかなと思
います。ただ、ひな型としてはすごく見やすい地図なのかなと感じました。

部会長

- ・多分マンションが販売されるときにこういうのを使っていたらいいようなことも想定してい
ると、市民病院予定とか入ると売れるかなという感じがします。さまざまな用途に応じたような形
で入れたり入れなかったりできても良いかなと思います。とにかく今日の議論を踏まえてと思
います。
- ・鉄道の色はどうしますか。事業者的にはどうですか。これで行きましょうという話は、JRさんが
いらっしやらないのであれですが。

委員

- ・能勢電鉄ですが、上はどちらかという電車の、阪急さんと能勢の電車カラーという感じで、下
は阪急さんの宝塚線、京都線、神戸線と色分けされているところがあって、宝塚線の色があって。
当社線も昔は阪急さんの電車の色と違っていたので、こういうヤマブキっぽいというか、そうい
う電車で、どちらかというそういうイメージがついている感じで。ただ、当社としてどの色を
使っているというわけではないので、今ハイキングとかやっている沿線マップには3番でしたか、
当社線は黄色っぽい色で、阪急さんはこの色だったかなと思っています。

委員

- ・阪急に乗っていると、能勢電鉄さんの電車の上の方にある路線図では能勢電は黄色で示されてい
る。

委員

- ・阪急電鉄です。コーポレートカラーとかイメージカラーとかいろいろご配慮いただいてありがと
うございます。
- ・ただ、この図で大切なのは駅からのアプローチの線だと思うので、それは赤で示すべきだろうと
思います。ですので、それを前提として、2か3で、JRと能勢さんの色で書いた方が良いかなと、

個人的には3かなと思います。

部会長

- ・3ですかね。今日JRさんはいらっしゃらないですが、多分3かなという気はします。イメージとしては案3で行きましようかね。何かご意見があれば。

委員

- ・案3の動線を赤にした方が良いのではないかという今の意見ではないですか。点線を赤に、もっと目立つ色が良いかなと。

○部会長

- ・もうちょっと彩度を上げるというのもあるかもしれないですね。
- ・細かいところですが、道路の上下は気にした方が良いのではないかと思います。能勢電と下の藤ノ木さんかく広場の横を通っている道だと能勢電が上ですよ。小さな話ですが。高架の下を通るのか、上を通るのかというところの細かいところですが、気にした方が良いかなと思います。

委員

- ・3で直っているところもあれば、逆に3で川が上に来てしまっているところがあったりする。

部会長

- ・国道176号線を渡られへんやと。そのあたりは細かいところを見ていただければと思います。
- ・続いて2ページ目ですが、事業者による活動状況についていかがでしょうか。
- ・8割ぐらいの従業員の方が公共交通もしくは自転車、徒歩で来られている。駐車場の利用状況も、混雑時においても4階部分がいっぱいになることはなさそうだということで、今後、啓発も続けていただけるといってお話かなと思います。その際に先ほど議論したようなものも活用いただけるのではないかと。
- ・絹延橋の道路の照度が低いということはどうのことですか。

委員

- ・今拡幅工事をしているのですが、元の計画として、安全灯はなかったのですよね。今のご指摘もありますし、それを踏まえた対応は要るのかなと。山の中にあるような暗い道でもないのかなと思ったりして。あと、電柱もありますので、電柱に添架させることは容易ですので、その辺の対応は後からでもできるのかなと考えております。

委員

- ・今工事中なのですね。

委員

- ・今まさに拡幅工事中で、絹延橋第1踏切という駅前の踏切の拡幅工事を行っている状況です。

委員

- ・もともとの道は本当に暗かった。めちゃくちゃ暗かった。今は徐々に明るくなっている。

○部会長

- ・少し気にしていただいて、夜間の歩行環境がちゃんと確保できているかどうか、またチェックいただければと思います。

委員

- ・承知しました。

委員

- ・資料で川西能勢駅から公共交通を使わずに歩いておられる方もいらっしゃるということですが、当社線の利用状況を言いますと、特にキセラ、オアシスタウンがオープンしてからというのは従業員の方、定期券利用者が2割から3割ぐらいは増えています。それはずっと今まで続いている状況でございます。

部会長

- ・それは川西能勢駅？

委員

- ・絹延橋から降りられてオアシスタウンに行かれる方は結構いらっしゃると思います。

部会長

- ・素晴らしい。

委員

- ・当社もなかなか利用人口が減っている中で、この駅だけはずっと対前年プラスで来ています。ですから、今、道路整備されているということですので、利用されている方にはご不便をおかけしているのはあるかもしれませんが、あの道路が整備されて踏切が拡幅になればだいぶ通りやすくなるかなと思っています。利用状況としては非常に増えているということです。

部会長

- ・素晴らしいですね。公共交通の利用が増えるなんて松山に住んでいるとあり得ない話なので。これを機に「絹延橋（キセラ前）」とつけていただけると良いかなと思うのですが。ご検討いただければ。

委員

- ・両側に改札が欲しいですね。

委員

- ・そうですね。その辺も含めて今検討している。構内踏切を渡っていただいて改札が1つです。

部会長

- ・利用者が増えていくと好循環が生まれていくのかなと思います。

委員

- ・改札口は能勢電さんと協議しながら両方につくような方向で今検討しています。

部会長

- ・他はどうでしょうか。何か公共交通の利用促進ということでこんなことをやってみたら、とかあれば。
- ・公共交通の時刻表はオアシスさんで作っていただけるということですか。公共交通の時刻表がショッピングセンターの共用部分にオアシスさんが作ってくれる？

事務局

- ・オアシスさんが作るのではなくて、そういうポスターがあれば掲示することを調整してくれますということでした。

部会長

- ・なるほど。じゃあ作りましょうということですね。これは作りますよね。これを作った方が良いです、絶対。作ってくれたら貼りましょうと言っているということは、作った方が良いでしょう。
- ・他はどうですか。
- ・こういうものが1つできると周辺の公共施設も貼ってもらえると良いですね。いろいろなものを貼っていただく。このエリア内の公共施設はできますよね。阪急オアシスがやってくれるのに何故、公共施設ではやってくれないのかと。

委員

- ・最初、先生からサイン看板の中で例えばQRコードを読み取ったら情報を取れるというお話がありました。予算の兼ね合いももちろん出てくるでしょうけれど、その時、その時にいろいろな情報が取れるような形にしておいて、ベースはQRコードを当てればそのときの時刻表が見れるとか、あるいは今直近の時間は何分に電車が出るとかバスが何時に出るとか、そういうのがあればすごく便利だと思います。
- ・もう少し発展すれば、例えばオアシスタウンの今日の広告チラシが見られるとか、そういうことをしながらオアシスさんに協賛金をいただくとか、そういうのは発想としてあるのかなと思います。

○部会長

- ・そうですね。ぜひそういうのを含めた中でサインを考えていけたらと思います。
- ・他に何かあれば、よろしいですか。
- ・いろいろ次の回までに公共交通の利用促進について考えていただいております、また次回アイデアをいただければと思います。

今後のスケジュール

部会長

- ・続いて3つ目、今後のスケジュールについてご説明をお願いします。

事務局

- ・資料説明（資料3）

委員

- ・次回は3月19日ということで、あとは6月、9月が予定ということですが、ご質問はございますか。
- ・今日の議事全体を通じて何か言い残したことがあれば。

事務局

- ・考え方の方向性の確認ですが、民間施設について冒頭、具体的な施設名がないという議論があって、そこで終わっているのですが、例えば案内板に載せる代わりに協賛金を取るとか、そういう条件のもと載せるとか、そういう発想というのはあり得ないのか。その辺はどう考えたら。それはどんな感じですか。

部会長

- ・その辺はどうですかね。民間施設、今までの公共サインとしてはそういうやり方をやったと思う

のですが、ただ、誘導で来ていることも間違いない。そうしたときに、協力金を頂戴して載せていくというのもありかもしれません。その辺のご意見はどうですか。両方あり得ると思うのですが。

委員

- ・例えば交通事業者さんの立場からは、今すぐお答えはできないかもしれませんが。

委員

- ・そうですね。即答は難しいです。

委員

- ・お店、民間のCMを載せるという意図は、そのお店にお客さんが来てほしいということですか。

事務局

- ・いえ、もうちょっと言うと、キセラの中にはオアシスタウンとロイヤルホームセンターという大規模なものがあって、あそこを目的に来られる方というのはかなりおられるだろう。そうしたら、キセラの中の新しく出店した人を対象に、一定の条件のもと、載せられるということをアナウンスして、じゃあわかりましたということで協賛金をいただいて載せるということがあればちょっとでも財源が助かるなどが、Win-Winになるということも発想として駄目なのかなと。その次元からよくわからないので問題提起させていただいています。

部会長

- ・どうでしょうか。

委員

- ・公園は利益を出せる仕組みで運用しようという話をしているので、公と民の関係を少し民の方向に持っていくというまちですよね。おっしゃっている方向がもしできるのであれば、当然自然な流れかと思います。

部会長

- ・確かに公園も利用者からお金を頂戴してサスティナブルに運用していこうという利用も進んでいますし、それに歩調を合わせるような形であり得るかなと私も思います。
- ・ただ、実際サインに載せたときにグシャッと並ぶということになってくるとまたこれはちょっとということもあるかもしれませんが。考えたらあかんというわけではないのではないかと思います。

委員

- ・現実的にランドマークになりますので、それを目印に他の方が来られますよね。特に絹延橋に行ったことがないと思われるお客さんが多くてオアシスタウンが見えるというと、ランドマークとしてはわかりやすいというのは利用者目線ではありますよね。

部会長

- ・確かに利用者から考えたときに有名な店が載っているというのは安心感がありますね。
- ・特にご意見がないようでしたら、入れるということも視野に入れて議論を進めていきましょか。いろいろなハードルはあると思いますが、乗り越えるべきところは乗り越えて。
- ・では、含めて考えるということにしたいと思います。
- ・他どうでしょうか。よろしいですか。
- ・では、閉会ということで、閉会のご挨拶を。

3. 閉会

事務局

- ・事務局からご連絡させていただきます。先ほど次回の開催のご案内をさせていただきましたが、3月19日(木)13時半からを予定しております。また日が近づきましたら改めてご案内いたしますので、よろしく願いいたします。
- ・もう1点、今日お車でお越しの方、駐車券がございましたら事務局までお声がけください。以上です。

部会長

- ・それでは、第13回交通部会はこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。

以上